

シャドーパンデミック

～影のパンデミック 女性の静かな闘い～

静岡県東部女性犯罪被害者支援link講演会第二弾

新型コロナウイルス感染症が世界で人体や経済に大打撃を与える中、女性や女兒が性暴力やDVを受ける「影のパンデミック」が起きていた。しかしそれはCOVID-19によって顕在化されたにすぎない。そこで昨年に続き、加害者臨床の精神保健福祉士の齊藤章佳氏による、性暴力が起こるメカニズムを深掘りして頂き、更に弁護士による現在の性犯罪刑法の実情と、法律による支援についてレクチャーを受け、私達女性の自己を守るための知識を学びます。

日時：2020年12月5日(土) 13:00～15:40

会場：三島市民活動センター4F (受付12:30～) 静岡県三島市本町3-29
タワーズショップパーキングの5Fで降り、南側の本町タワー4Fにお越し下さい

参加費：資料代1000円

定員：40名定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。

お早めにお申込みください

～申込・お支払い方法～

Peatixからチケットをご購入下さい。

ご不明な点はlink.0303.zyosei@gmail.com・☎090-4111-5934



講師プロフィール

講師：齊藤章佳(さいとうあきよし)

所属：大船榎本クリニック精神保健福祉部長(精神保健福祉士/社会福祉士)

・1979年生まれ。大卒後、アジア最大規模といわれる依存症施設である榎本クリニックにソーシャルワーカーとして、約20年に渡りアルコール依存症を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・児童虐待・DV・クレプトマニアなど様々なアディクション問題に携わる。その後、2020年4月から現職。

専門は加害者臨床で現在まで2000名以上の性犯罪者の治療に関わる。また、都内更生保護施設では長年「酒害・薬害教育プログラム」の講師をつとめている。小中学校では薬物乱用防止教育をはじめ、大学でも早期の依存症教育に積極的に取り組んでおり、全国での講演も含めその活動は幅広くマスコミでも度々取り上げられている。

・著書：「性依存症の治療」金剛出版、2014(共著)

「性依存症のリアル」金剛出版、2015(共著)

「男が痴漢になる理由」イースト・プレス、2017

「万引き依存症」イースト・プレス、2018、

「小児性愛という病-それは、愛ではない～」ブックマン社、2019

「しくじらない飲み方-酒に逃げずに生きるには」(集英社)、その他論文多数。

(2020年4月1日改)



講師：弁護士 土屋賢太郎

所属：こだま法律事務所

経歴

2006年 弁護士登録

2006年度～現在 静岡県弁護士会犯罪被害者支援委員会委員

2009年度～2011年度 同委員会副委員長

2012年度～2014年度 同委員会委員長

2015年度～2017年度 日本弁護士連合会犯罪被害者支援委員会委員

2016年～ 三島警察署 犯罪被害者支援連絡協議会委員

主催 静岡県東部女性犯罪被害者支援 link

協賛 公共財団法人 日本財団



後援 静岡新聞社 伊豆日日新聞 三島市 長泉町 清水町 沼津市